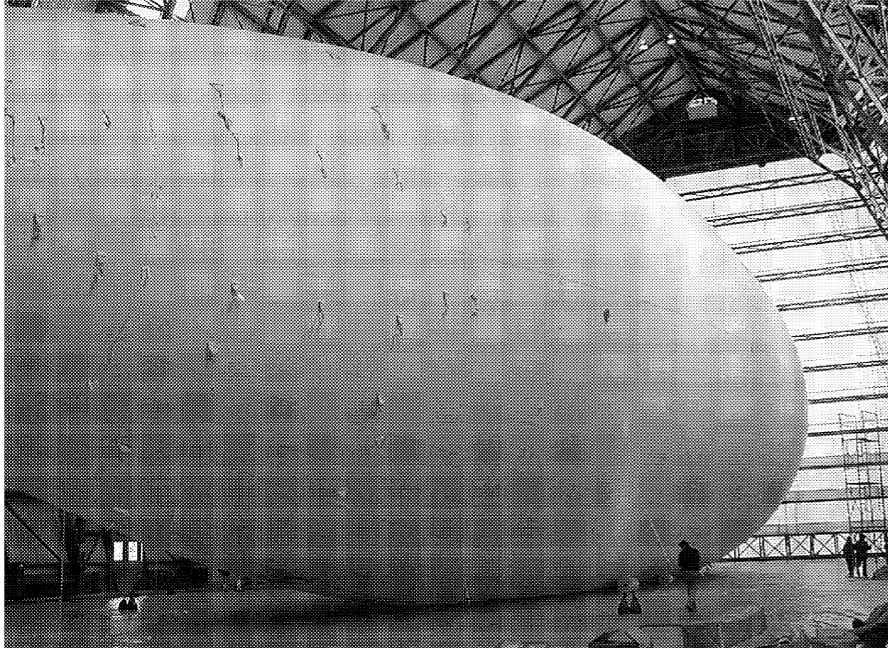


大樹の成層圏プラットフォーム計画

実験用飛行船公開へ



格納庫内で組み立て作業中の定点滞空飛行試験用の実験機
(昨年12月、町提供)

【大樹】町多目的航空公園で5月末以降に始まる「成層圏プラットフォーム計画」の定点滞空飛行試験用で、実験機となる全長約68メートルの無人飛行船が21日、同公園内(美成)で、町民に公開される。
(浅井文人)

21日に航空公園 格納庫内で見学

公開は実験機の組み立てが間もなく終了するのに合わせて、試験を主に担当する独立行政法人宇宙航空研究開発機構などが主催する。試験の意義や目的について、地元町民に理解を深めてもらうことが狙い。

国による同計画では、将来的に高度20キロの成層圏に250以上の無人飛行

え、従来のイメージとは全く異なる構造。機体の膜材や動力、通信機器に最新の科学技術が凝縮されている。

軽量化するために機体は軟式構造を採用。成層圏は気圧が低いので、外皮には丈夫で気密性が高い膜材を使った。内部は空気のほか、燃えない安全なヘリウムが入っており、浮力を出す。動力用のプロペラは船体の下部に2つ付ける。

全地球測位システムの補正受信機や飛行制御計算機なども搭載され、遠隔、自動操縦が可能だ。

公開は21日午前11時と正午からの2回。午前10時半と同11時半に、町役場南側駐車場から送迎バスも運行する。町による、当日は格納庫の中で、当日は格納庫の中で実験機を見学する見込みで、屋外に飛行船を出して飛行させることはないという。

参加希望者は13日まで町総務企画課企画グループ

1プ(01558・6・2111)内線314か315へ電話で申し込む。